

MENU

SEARCH

INDEX

DETAIL

1/1



JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number: 09288696

(43)Date of publication of application: 04.11.1997

(51)Int.Cl.

G06F 17/60

G07F 7/12

(21)Application number: 08102288

(71)Applicant:

TECHNICAL:KK

(22)Date of filing: 24.04.1996

(72)Inventor:

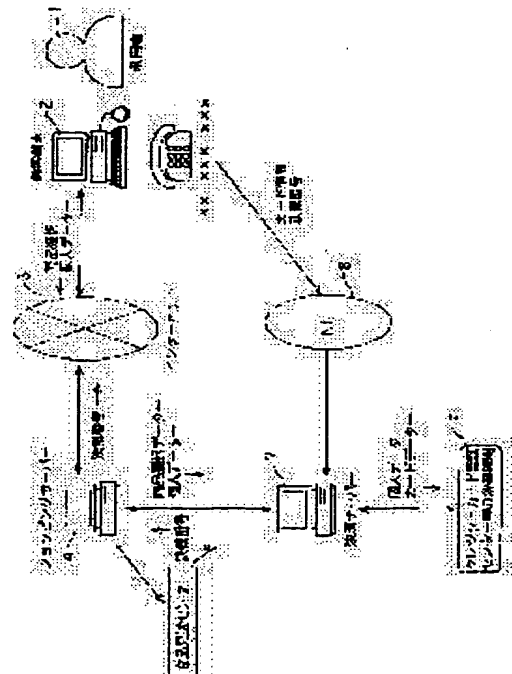
NAKAGAWA TOSHIMITSU

(54) MAIL ORDER SALE METHOD APPLYING INTERNET

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To surely prevent such a case where the card data are stolen in an internet and the commodities are unfairly purchased by an outsider by ordering the commodities via the internet and sending the card data via a telephone circuit, respectively.

SOLUTION: A user 1 selects his desired commodities via a terminal equipment 2 and an internet 3 and also sends the personal data on the user's address, name, etc., to a shopping server 4 to specify the user's identity. The server 4 sends the approval number received from an approval server 7 to the user 1 via the internet 3. Then the user 1 sends his credit card data including the number, the available period, etc., of the card to the server 7 via a telephone circuit 8. The server 4 confirms the approval and instructs a commodity shipping center 6 to ship the commodities. Thus, it is possible to



prevent an outsider from purchasing unfairly the commodities.

LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998 Japanese Patent Office

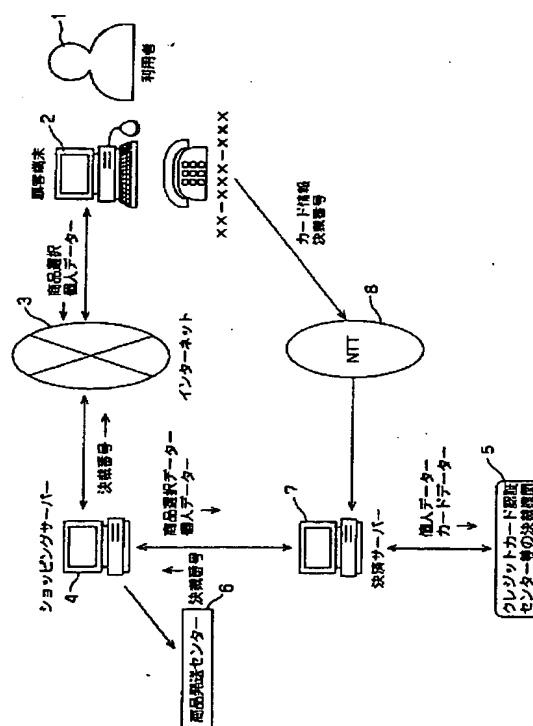
[MENU](#)

[SEARCH](#)

[INDEX](#)

[DETAIL](#)

(19)【発行国】日本国特許庁（ＪＰ）
(12)【公報種別】公開特許公報（Ａ）
(11)【公開番号】特開平９－２８８６９６
(43)【公開日】平成９年（１９９７）１１月４日
(54)【発明の名称】インターネットを利用した通信販売方法
(51)【国際特許分類第６版】



【特許請求の範囲】

【請求項1】 利用者の端末機によりインターネットを介して、購入する商品を選択すると共に、住所、氏名等の利用者本人を特定する個人データをショッピングサーバーに送信し、次いで、前記ショッピングサーバーは、決裁サーバーに前記商品の選択データおよび前記個人データを送信し、次いで、前記決裁サーバーは、前記利用者および前記商品の固有の決裁番号を前記ショッピングサーバーに送信し、次いで、前記ショッピングサーバーは、前記決済番号をインターネットを介して前記利用者に送信し、次いで、電話回線を介して前記利用者のクレジットカードの番号および有効期限等のカードデータおよび前記決済番号を前記決裁サーバーに送信し、次いで、前記決裁サーバーは、前記ショッピングサーバーから送信された前記個人データおよび前記利用者から送信された前記カードデータを決裁機関に送信して、前記利用者が前記クレジットカードの所有者本人であるか否かを確認し、本人であることを確認した場合には、前記決裁サーバーは、前記ショッピングサーバーに決裁確認を通知し、次いで、前記ショッピングサーバーは、商品発送センターに前記商品の発送を指示し、一方、本人であることを確認できなかった場合には、前記決裁サーバーは、前記ショッピングサーバーを経由してインターネットを介してその旨を前記利用者に送信することを特徴とする、インターネットを利用した通信販売方法。

【発明の詳細な説明】**【0001】**

【発明の属する技術分野】 この発明は、インターネットを利用した通信販売方法、特に、インターネットを介して商品を不正に購入することを確実に防止することができる、インターネットを利用した通信販売方法に関するものである。

【0002】

【従来の技術】 インターネットを利用した従来の通信販売方法について、図面を参照しながら説明する。

【0003】 図2は、インターネットを利用した従来の通信販売方法を示す流れ図である。図2に示すように、利用者1は、端末機2によってインターネット3を介して購入する商品を選択（注文）する。これは、利用者1が端末機2のホームページにクレジットカードの番号、氏名、有効期限等のカードデータを入力して、このカードデータをインターネット3上に送信することによって行う。

【0004】 このようにして送信されたカードデータは、利用者1が加入しているプロバイダーを介して商品販売元のショッピングサーバー4に送信される。ショッピングサーバー4は、カードデータをクレジットカード承認センター等の決裁機関5に送信して、利用者1がクレジットカードの所有者本人であるか否かを確認し、

本人であることを確認した場合には、ショッピングサーバー4は、商品発送センター6に商品の発送を指示する。一方、本人であることを確認できない場合には、その旨をインターネット3を介して利用者1に送信する。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら、上述した、インターネットを利用した従来の通信販売方法は、次のような問題を有している。即ち、利用者1のカードデータは、利用者1が加入しているプロバイダーを介して商品販売元のショッピングサーバー4に送信されるが、その間にカードデータが盗聴等によって盗まれる恐れがあり、プロバイダーにも秘密保持の保証はない。このような問題を解決する対策として、カードデータの暗号化が提案されているが、この方法も、暗号の解読法がすぐに開発されてしまうために抜本的な解決策にはならない。

【0006】 従って、この発明の目的は、インターネットを介して商品を購入する場合において、商品の注文はインターネットを介して行い、カードデータの送信は、別に電話回線によって行うことにより、カードデータがインターネット上で盗まれて商品が第三者によって不正に購入されることを確実に防止することができる、インターネットを利用した通信販売方法を提供することにある。

【0007】

【課題を解決するための手段】 請求項1記載の発明は、利用者の端末機によりインターネットを介して、購入する商品を選択すると共に、住所、氏名等の利用者本人を特定する個人データをショッピングサーバーに送信し、次いで、前記ショッピングサーバーは、決裁サーバーに前記商品の選択データおよび前記個人データを送信し、次いで、前記決裁サーバーは、前記利用者および前記商品の固有の決裁番号を前記ショッピングサーバーに送信し、次いで、前記ショッピングサーバーは、前記決済番号をインターネットを介して前記利用者に送信し、次いで、電話回線を介して前記利用者のクレジットカードの番号および有効期限等のカードデータおよび前記決済番号を前記決裁サーバーに送信し、次いで、前記決裁サーバーは、前記ショッピングサーバーから送信された前記個人データおよび前記利用者から送信された前記カードデータを決裁機関に送信して、前記利用者が前記クレジットカードの所有者本人であるか否かを確認し、本人であることを確認した場合には、前記決裁サーバーは、前記ショッピングサーバーに決裁確認を通知し、次いで、前記ショッピングサーバーは、商品発送センターに前記商品の発送を指示し、一方、本人であることを確認できなかった場合には、前記決裁サーバーは、前記ショッピングサーバーを経由してインターネットを介してその旨を前記利用者に送信することに特徴を有するものである。

【0008】

【発明の実施の形態】次に、この発明の、インターネットを利用した通信販売方法の一実施例を、図面を参照しながら説明する。

【0009】図1は、この発明の、インターネットを利用した通信販売方法を示す流れ図である。図1に示すように、この発明は、先ず、利用者1が端末機2によりインターネット3を介して、購入する商品を選択（注文）し、同時に住所、氏名等の利用者本人を特定する個人データをショッピングサーバー4に送信する。次いで、ショッピングサーバー4は、決裁サーバー7に商品の選択データおよび前記個人データを送信する。次いで、決裁サーバー7は、利用者1および商品の固有の決裁番号をショッピングサーバー4に送信する。ここで、決裁番号とは、ショッピングサーバー4に注文された商品に、注文順に連続的に付された商品番号である。

【0010】次いで、ショッピングサーバー4は、前記決済番号をインターネット3を介して利用者1に送信する。このようにして、決済番号が送信されてきたら、利用者1は、電話回線8（プッシュホン）を介して利用者1のクレジットカードの番号および有効期限等のカードデータおよび前記決済番号を決裁サーバー7に送信する。次いで、決裁サーバー7は、ショッピングサーバー4から送信された前記個人データおよび利用者1から送信されたカードデータを、クレジットカード承認センター等の決裁機関5に送信して、利用者1がクレジットカードの所有者本人であるか否かを確認し、本人であることを確認した場合には、決裁サーバー7は、ショッピングサーバー4に決裁確認を通知する。このようにして、ショッピングサーバー4に決裁確認が通知されたら、ショッピングサーバー4は、商品発送センター6に商品の発送を指示する。一方、本人であることを確認で

きなかった場合には、決裁サーバー7は、ショッピングサーバー4を経由してインターネット3を介してその旨を利用者1に送信する。

【0011】このように、インターネットを介して商品の購入する際に、カードデータの送信のみを別に電話回線によって行うことにより、カードデータがインターネット上で盗聴等によって盗まれて商品が第三者によって不正に購入されることを確実に防止することができる。

【0012】

【発明の効果】以上説明したように、この発明によれば、インターネットを介して商品を購入する場合において、商品の注文はインターネットを介して行い、カードデータの送信は、別に電話回線によって行うことにより、カードデータがインターネット上で盗まれて商品が第三者によって不正に購入されることを確実に防止することができるといった有用な効果がもたらされる。

【図面の簡単な説明】

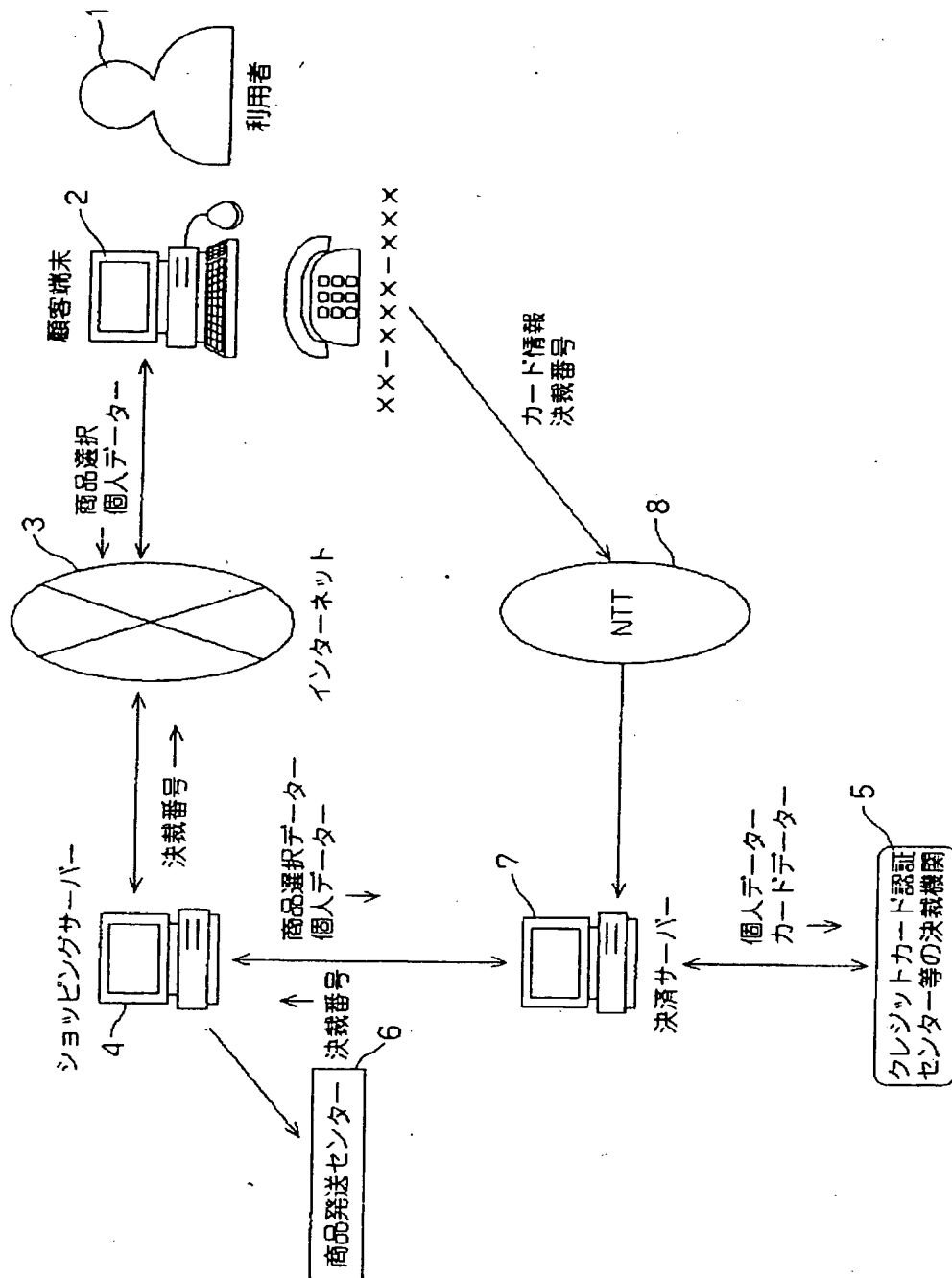
【図1】この発明の、インターネットを利用した通信販売方法を示す流れ図である。

【図2】従来の、インターネットを利用した通信販売方法を示す流れ図である。

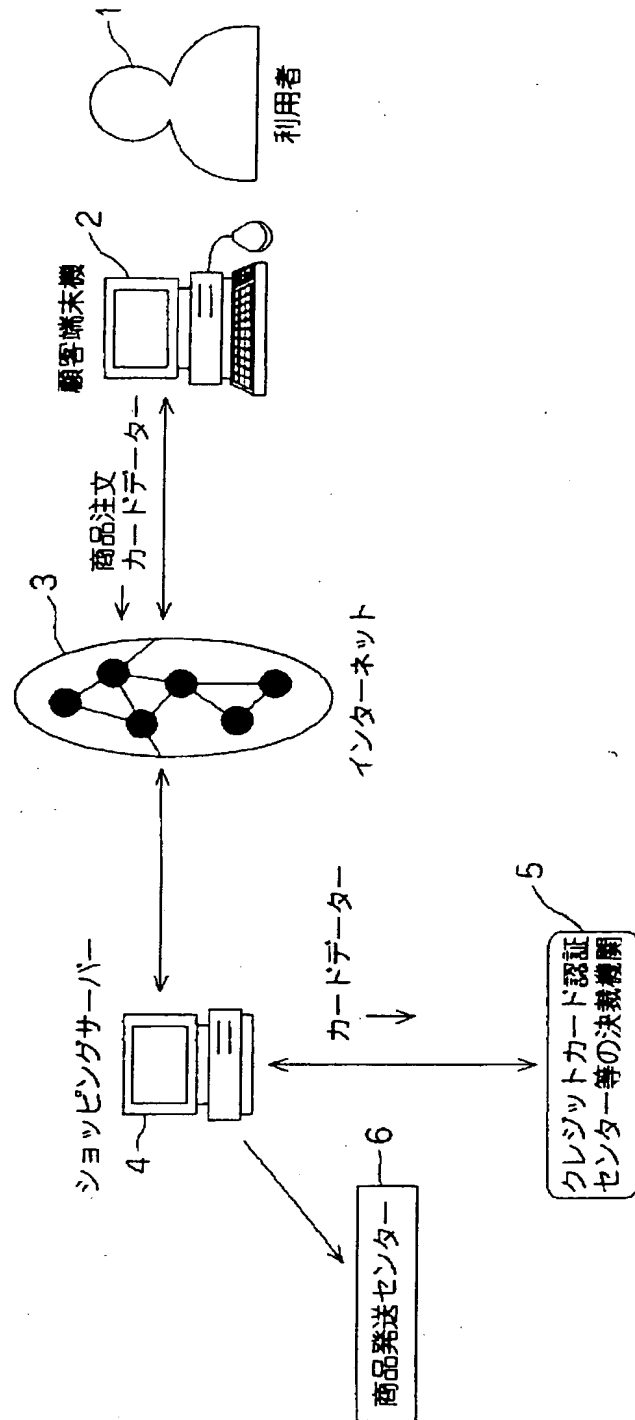
【符号の説明】

- 1：利用者
- 2：端末機
- 3：インターネット
- 4：ショッピングサーバー
- 5：決裁機関
- 6：商品発送センター
- 7：決裁サーバー
- 8：電話回線

【図1】



【図2】



This Page Blank (uspto)